








環境創造企業
学びの

会社概要

会社名	電子システム株式会社
所在地	本社・東海支社 愛知県名古屋市中区御器所 3-2-5 〒466-0051 Tel: 052-872-0505 Fax: 052-872-0388 首都圏支社 東京都武蔵野市中町 1-11-4 武蔵野ニッセイプラザ 5 階 〒180-0006 Tel: 0422-60-5155 Fax: 0422-60-5166
法人設立	昭和 52 年 9 月 1 日 (1977 年)
代表取締役	田中弘一郎
資本金	97,185 千円
取引銀行	みずほ銀行、三菱 UFJ 銀行、商工組合中央金庫、名古屋銀行、愛知銀行
許認可	国土交通大臣 般 - 27 第 21375 号 電気通信工事業、消防施設工事業、電気工事業
事業内容	IT 教育システム、プレゼンテーションシステム、遠隔講義システム、CALL システム、映像・音響システム、スタジオシステム、ITV セキュリティシステム、ビデオ会議システム、株主総会サポートシステム、医療用電子システム、コンピュータネットワーク等の設計・施工・管理
加盟団体	社団法人私立大学情報教育協会、外国語教育メディア学会 (LET)
主要取引先	ソニーマーケティング株式会社、パナソニックコネクタ株式会社、TOA株式会社、株式会社JVCケンウッド・公共産業システム、シャープマーケティングジャパン株式会社、テクノホライゾン株式会社、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、ダイワボウ情報システム株式会社、TD SYNTEX株式会社、日本電気株式会社、ボーズ合同会社、チエル株式会社 (順不同・敬称略)

品質マネジメントシステム	ISO9002 1999年認証取得 ISO9001 2002年認証取得	 
環境マネジメントシステム	ISO14001 2001年認証取得	 
情報セキュリティマネジメントシステム	ISMS 2005年認証取得 ISO27001 2007年認証取得	 
プライバシーマーク	2006年認証取得	

東海支社沿革

1977年 9月	愛知県名古屋市中区に株式会社電子設備として会社設立
1985年 11月	新社屋完成に伴い、名古屋市中区紅梅町へ移転
1990年 1月	電子システム株式会社に商号変更
1999年 5月	東京都三鷹市に首都圏営業部を新設
2004年 5月	首都圏営業部事業拡大のため武蔵野市に移転
2007年 5月	東海支社を名古屋市中区御器所 3 丁目へ移転
2014年 3月	平成 25 年度都市美化功労表彰式にて名古屋都市美化連盟会長表彰を受賞
2018年 7月	品質マネジメントシステム ISO9001 : 2015 (JIS Q 9001 : 2015) 環境マネジメントシステム ISO14001 : 2015 (JIS Q 14001 : 2015) 規格改訂及び QE 統合認証
2021年 2月	BCP (事業継続計画) 策定

お問い合わせ

東海支社電話

ホームページ

052-872-0505 <https://densys.co.jp>お客様の
ベネフィットに
貢献するプロ集団

主な納入実績

※教育機関・官公庁・自治体・企業・その他（順不同、敬称略）

Installed inventory

映像・音響システム

愛知医科大学	講義収録カメラシステム
愛知教育大学	電子黒板機能付きプロジェクター
愛知県立大学	教室AV機器
愛知工業大学	マルチメディアシステム
愛知淑徳大学	クリエイティブスペースAVシステム
愛知東邦大学	ラーニングコモンズAV設備
金城学院大学	礼拝堂AVシステム
国立音楽大学	教室映像音響設備
国際基督教大学	多目的ホール・体育館映像音響設備
大同大学	ホールAVシステム
津田塾大学	遠隔コミュニケーションシステム
東京大学	教室・会議室映像音響設備
東京外国語大学	ホール映像音響設備
名古屋大学	総合研究棟AVシステム
名古屋外国語大学	AV設備
名古屋工業大学	サテライトマイクシステム
名古屋柳城短期大学	美術演習室システム
南山大学	移動式ディスプレイシステム
日本福祉大学	キャンパス映像設備
藤田医科大学	実習室AVシステム
防衛大学校	視聴覚装置
明治大学	スタジオシステム
最高裁判所	総研庁舎映像音響整備改修工事



名古屋市公会堂	舞台音響工事
三重県教育委員会	ホールデジタルワイヤレスシステム
味の素株式会社	AVシステム
株式会社NHKメディアテクノロジー	コラボレーションルーム
カンロ株式会社	講堂プロジェクターシステム
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	研修所AVシステム
デロイトトーマツ コンサルティング合同会社	研修室AVシステム
東海東京証券株式会社	AVシステム
東建コーポレーション株式会社	研修室AVシステム
株式会社トヨタデジタルクルーズ	AVシステム
ペプチドリーム株式会社	視聴覚装置
ホシザキ株式会社	ホールプロジェクターシステム
メットライフ生命保険株式会社	AVシステム

デジタルサイネージ

株式会社愛知銀行	広告用デジタルサイネージ
セントレアホテル	インフォメーションデジタルサイネージ
トヨタカローラ名古屋株式会社	店舗内サイネージシステム



セキュリティー・システム

愛知芸術文化センター愛知県図書館	監視カメラ
公益財団法人名古屋まちづくり公社	非常放送アンプ工事
グリーンサイクル株式会社	防犯監視用カメラシステム
株式会社テックササキ	防犯監視用ネットワークカメラ
トヨタカローラ名古屋株式会社	監視カメラシステム
ヤマザキマザック株式会社	ネットワークカメラシステム

主な納入実績

※教育機関・官公庁・自治体・企業・その他（順不同、敬称略）

Installed inventory

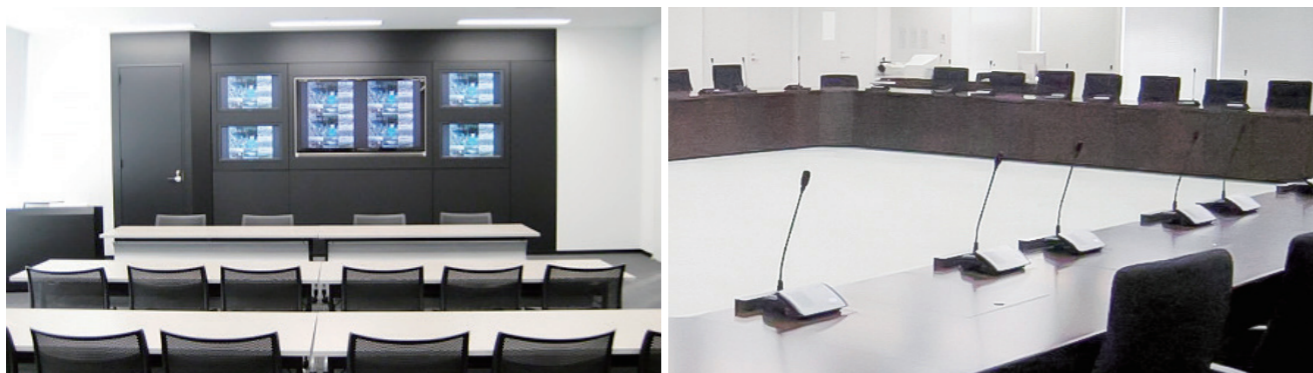
IT システム

桜花学園大学	パソコン設備
金城学院大学	CALLシステム
愛知医療学院短期大学	語学演習システム
外務省研修所	無線LANシステム
岩倉病院リハビリセンター	画像配信システム
株式会社JU岐阜羽島オートオークション	マルチカメラシステム



会議システム

愛知大学車道校舎	ペーパーレス会議システム
名古屋国税局	会議室放送設備
防衛省	会議システム
アイシン・エイ・ダブリュ株式会社	役員会議室プレゼンシステム
協和キリン株式会社	会議室AVシステム
スギホールディングス株式会社	会議室AVシステム
株式会社スズケン	会議室AVシステム
株式会社不二家	会議室プロジェクターシステム
ホシザキ株式会社	会議室AVシステム
リンナイ株式会社	役員会議室AVシステム



お客様の声

Interview

愛知大学様

教材提示システムのリニューアルと ホールや中・小規模の講義室にシステムを導入

愛知大学様では、第1期工事に導入した教材提示システムのリニューアルを検討されていました。そこで第1期で好評を得たシステムをベースに、利便性を確保したシステムを提案。第2期工事では中・小講義室にもシステムを導入しました。

インタビュー ビジョンを共有しながら 一緒に納得のいく回答を出す

教材提示システムの第2期工事です。お願いしたことは2つです。1つは操作感を統一して欲しいということ。もう1つは、第1期に出たいいくつかの問題点を解決したいということです。

操作感の統一に関してはシステムの利用を促すために最も重視しました。以前は混在していた操作方法を統一することでシステム利用のハードルを下げたいと思っていました。また、第1期で好評だった操作感を踏襲するようにしてもらいました。また、音にもこだわってBOSE社のスピーカーを入れました。語学を例に

あげるとヒアリングではクリアな音が重要です。以前は聞き取りにくいなどの問題がありましたが、1期・2期と音響面も統一したため問題が出ていません。

問題点の解消に関しては教学委員会などで出た意見をまとめることから始めました。第1期は概ね満足いくシステムとなりましたが、実際に運用して初めてわかる課題もありました。多くは小さな課題でまとめるのは大変でしたが、解消後はかゆい所に手が届くシステムになったと思います。

このように第1期から第2期工事の間で30件ほど上がっていた検討事項は、電子システムさんの協力のおかげで第2期に解決に至りました。



第1期の操作感を引き継ぎながら改修した操作パネル

電子システムさんの魅力は一緒に考えていただけることです。様々なご提案をいただけることも魅力のひとつですが、私たちが改善が難しそうだと思うことも一緒に考えて、実現に向けてビジョンを共有していただけることが本当にありがたいです。

愛知大学様

グローバルラウンジのシンボルとして サイネージを活用した世界時計を設置

愛知大学様はグローバルラウンジに設置する世界時計をご検討されていました。弊社はAVシステムのノウハウを活かして、液晶テレビプラビアを使ったサイネージによるこれまでとは違う世界時計をご提案し、設計施工を行いました。

インタビュー 異文化の雰囲気作り 世界時計によって

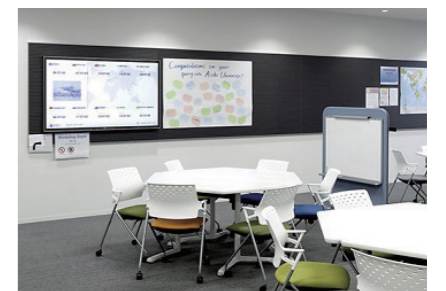
2017年にスタートした新体制の目玉としてグローバルラウンジを開設しました。学生や留学生、教員も交えた交流の場を想定しています。ここを拠点にして国際交流を目指していきたいと考え、その環境整備の一環でラウンジのシンボルとして世界時計を設置するというアイデアや多言語表示というアイデアも出ました。

一方で、海外のゲストを招く場としても想定しています。そのためゲストの国に関連したものがそこにあることで、心理

的な距離感を縮めたいという思いもあり、世界時計は非常にマッチしています。

世界時計は白をベースにした上品で清潔感があるデザインは、どんな部屋にも、どんな家具にも合わせやすく好評でした。異文化や海外のイメージを感じる雰囲気作りにも貢献していると思います。

また、今後の活用のアイデアとして、留学生が撮影した自国の写真を表示することで、彼らの文化を知ったり交流したりするきっかけが生まれるかもしれません。表示している都市の協定校と通話や通信ができるようになれば、世界時計でコミュニケーションが広がると思います。



グローバルラウンジの掲示板に設置された世界時計

世界時計やサイネージのようなデジタルアイテムは、今後はますます必須になります。電子さんにはグローバル化を進めていくためのツールなど紹介して欲しいと思っています。

金城学院大学様

統一規格の AV システムにより 操作性が向上

金城学院大学様では、大学キャンパスの大規模リニューアルとして、3棟の校舎と礼拝堂を新築しました。これに伴い、講義室、実習室などの AV システムを更新。当社が一連のシステム納入および改善を担当させていただきました。

インタビュー
高機能よりもシンプルで
使いやすさを追求

これから生きる女性にとって、つねに理想的な学びの環境を提供したい。そんな思いのもと本学では、2012年より金城学院マスタープラン「KMP21」を推進してきました。第一・第二フェーズとも順調に進み、理想的な学習環境が整ったところです。

学びの環境という側面からすれば、講義室や実習室などにおける AV システムの充実が、必須項目です。それが電子システムさんのおかげで、とてもよい環境になりました。

特に注目したいのが、AVシステムに

おける操作性の向上です。これまでの校舎においては AV システムの統一化がままならない状態でした。先生方には不便な思いをさせてきました。それが統一規格のスイッチになったことで、先生方が迷わなくなり、授業がスムーズに進むようになりました。

さらに「KMP21」の第一フェーズとして、自主的な学習を促すラーニング commons を新設しました。ここでは、一人でもグループでも自分のスタイルに合わせて学習できる3つの空間を設け、電子黒板をはじめとした AV 設備を整えました。その結果、学生たちが積極的に活用するという、よろこばしい状況になっています。



シンプルなものにした講義室の操作パネル

先生方がスムーズに使えるだけでなく、学生たちも自主的に学習ができる、当初のイメージ以上に環境が整いました。まさに「KMP21」を推進した意味があると感じています。同時に電子システムさんのご提案を受け入れた結果でもあります。

愛知淑徳大学様

時代に呼応するために フル HD 化を計画

愛知淑徳大学様では、2013年3月度、フルデジタル化による「ソシオメディアラボ」の全面リニューアル。それに伴うシステムのご提案、設計施工をさせていただきました。

インタビュー
きめ細やかな対応
将来性を感じる提案が魅力です

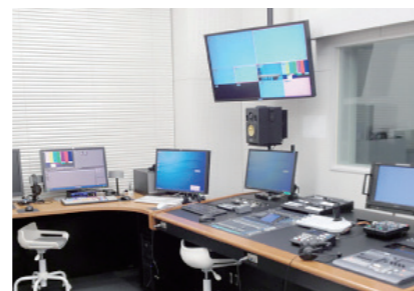
今回のリプレイスでは、多くの学生に活用してもらい、いかにラボ稼働率を上げるかが重要な課題でした。そのきっかけが HD 化となります。さらに映像や写真の撮影・編集・画像処理、録音ができるマルチパーパスなラボになり、学生たちの使用頻度が上がりましたね。

計画の時点では、ラボのイメージは漠然としたものでした。明確な輪郭をなしたのは、電子システムさんのきめ細やかな対応のおかげですね。使いやすいだけ

でなく、将来の拡張性を見据えたシステムの構築。学生が課題制作をするうえで、最高のポテンシャルを秘めた施設になりました。

また、リプレイスで実現したかったのが、制作物のアーカイブ化です。具体的にはテーブルスの環境で制作物が蓄積できるばかりか、閲覧が可能となったのです。これにより学生同士が刺激を受け、制作意欲が高まる。まさに課題制作の活性化につながるものと期待しています。

今後は課題制作の拠点として、制作物を通じて学生同士が交流し、よりよい制作が生まれる場になること。将来、こう



映像制作・写真撮影ができる多目的スタジオ

した存在自体がラボの「強み」につながればと考えています。またクリエイティブな発想を具現化できる場があることで、さらに学生たちの制作意欲に火が付けば、リプレイスした甲斐がありますね。

愛知県立大学 小栗研究室様

機器の存在感をなくして 環境と融合した VR システム

2018年10月に東京・根津美術館の茶室で行われた茶会で、当社で製作した「VR 行灯」が用いられました。茶室に直接施工することなく、お客様が違和感を持たれないように VR システムを茶会で実現するという試みでした。

インタビュー
新しい技術を取り入れ
伝統と歴史ある文化を魅せる

きっかけは、今回の席主さんが、2017年に VR システムで演出した私の茶会を体験されて、ご自身の茶会でも活用したいと相談いただいたことです。ただ、私の場合は実家の茶室でしたので改築して VR システムを導入することができましたが、根津美術館の茶室は違います。解決策がなければ、ワイヤーでプロジェクターを吊るそうかと思っていました。他の人の茶会に VR システムを持ち込むというのも初めての試みでしたので、不安もありました。

そこで、普段から様々なご提案をいただいたり、ご相談させていただいたりし

ている電子システムさんに話をしてみました。ワイヤー案については、安全上の観点から反対されましたが、スチール等の台に置くのも茶会には合わない。検討する中で、夜会(夜に行う茶会)には室内に「行灯」があることを思い出してお伝えしましたが、行灯にプロジェクターを組み込むのは難しいと思っていました。

結果的には、電子システムさんのご尽力で完成した「VR 行灯」は、プロジェクターと茶室が見事に融和していました。私の方で制作したプロジェクションマッピングと共に、現代のお茶の世界に新たな感動を与えられる VR システムとなりました。

「お茶」という歴史ある世界に ICT が入ることへの抵抗感や違和感は、工夫次第



プロジェクターを組み込んだ VR 行灯

でいくらでも小さくすることができます。かつて、日本と外国の文化が融合して立礼式という新しいお茶の形が生まれたように、VR 行灯も何か新しい形を生み出すかもしれません。電子システムさんには、今後も文化と技術の架け橋として、難題であっても挑戦して欲しいと思います。

上智大学様

テレビ局と同等のフル HD システムを整備 小回りの効いたサポートで安心した環境を提供

上智大学様は、テレビ番組制作の教育において先駆的な役割を果たしてきました。既存システムの保守を行っていた弊社は、バランスの良いシステムの整備と足回りを生かしたサポートで、導入後も授業をバックアップしております。

インタビュー
ちょっとしたことで
話がしやすく助かる

テレビ局と同じことができちゃう環境は、初めて撮影機材を扱う学生たちにはもったいないくらいです。しかし、学生にこそ最新の環境で学ばせるのは大いに意義のあることです。

リプレイス後、初の今年は基礎体力づくりで、学生たちは「もっとあしたい、こうしたい」と、うずうずしていると思います。アーカイブも検索しやすく、前年度の作品を見せながらの授業もできます。また将来は学生主体による地域への映像

発信基地としても利用可能でしょう。

提案の際には、旧システムの保守をしていた関係で電子システムさんにもお声がけいたしました。結果、最も機能面と価格面のバランスのよい内容でした。また、リプレイスのための学内ワーキンググループへの追加資料や同様のシステムを導入している他大学への見学など、私たちからの要望に快く対応やサポートしていただき大変助かりました。

実際に使ってみて、安定性、信頼性の面でも問題ありません。テーブルシステムも操作性がとても良く、保存したファイルも探しやすいです。e-learning の教



テレビ局と同等のマスターコンソール

材作成などに今後は活用したいと考えています。

サポートは電子システムさんが日常的に足を運んでくれるので、ちょっとしたことでも話がしやすく、助かっています。